



おくたま

第212号

令和7年2月5日発行

町議会だより



原島 匠・書

編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <https://www.town.okutama.tokyo.jp/>

第63回加藤旗争奪駅伝競走大会開催される！

～ おくたまふれあい駅伝 ～

令和6年12月8日



元気に飛び出していった33人のランナー

小中学生も負けずに いざ、スタート！

○表紙写真：川井コースのスタート（古里駅前交差点）



加藤旗争奪駅伝競走大会は、昭和35年に第1回が開催され、途中、コロナ禍での中止もありましたが、町当局をはじめ、多くの先輩や町民皆様のご支援やご協力のもとに今回で第63回を迎えました。今後、多くの皆さんが参加され、この駅伝競走大会が70回、80回、100回と続くことを期待しています。

写真は、古里小学校校庭で行われた開会式の様子です。



議員全員で給食センターの視察を行い、その後、総務文教常任委員会は氷川小学校で、経済厚生委員会は古里小学校で児童と給食を共にいただきました。

この日のメニューは古里小学校児童が発案した「わさぴーコロッケ」です。



野村不動産ホールディングス（株）は、「持続可能な社会の実現に関する包括連携協定」を奥多摩町と結び、町有地での森林経営等を行っています。

新たな企業誘致の形として期待できる一方、事業地は山奥にあり、活動の周知が必要なため議員全員で視察しました。



第4回定例会は、11月29日から12月6日までの、会期8日間にわたり開催されました。

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも賛成多数により、原案のとおり承認、可決されました。

【専決処分】

○議案第63号
一般会計補正予算(第3号)

【条 例】

○議案第64号
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

○議案第65号
特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

○議案第66号
奥多摩町一般職の職員の給与

に関する条例の一部を改正する条例

【契 約】

○議案第67号
消防団員用高視認性活動服購入契約

【補正予算】

○議案第68号
一般会計(第4号)

○議案第69号
都民の森管理運営事業特別会計(第2号)

○議案第70号
山のふるさと村管理運営事業特別会計(第2号)

○議案第71号
国民健康保険特別会計(第2号)

○議案第72号
下水道事業会計(第2号)

○議案第73号
国民健康保険病院事業会計(第2号)

【その他】

○議案第74号
奥多摩町基本構想の策定について

陳情の取扱い

審議されたのは、陳情1件で、次のように決定しました。

【採択としたもの】

○陳情第3号
「再審法改正(刑事訴訟法の一部改正)の促進を国に求める意見書」の提出を求める陳情書

議員提出議案と結果

次の議案が提出され、全議員の賛成により可決されました。

○議員提出議案第2号
再審法「刑事訴訟法の再審規

定」の改正を求める意見書

【賛成：○○ 反対：×× ※議長は裁決に加わらないが賛否同数の場合は議長が決裁します。】

賛否の分かれた議案

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	議席番号
原島 幸次	高橋 邦男	宮野 亨	小峰 陽一	澤本 幹男	大澤由香里	相田恵美子	森田 紀子	伊藤 英人	榎戸 雄一	議員名 議案番号
○	○	○	※	○	×	×	×	○	○	議案第64号
○	○	○	※	○	×	○	×	○	○	議案第65号

一般質問

令和6年第4回定例会では、9名の議員が一般質問を行いました。ここでは、紙面の都合により、内容を要約して質問者順に掲載しています。質問・答弁の全文は、2月中旬頃より、ホームページで閲覧できます。(町ホームページ～奥多摩町議会～会議記録(結果))

町ホームページは、スマートフォン・タブレット端末等でもご覧いただけます。

また、町内各図書館でも会議録をご覧いただけます。



QRコード

(1) 6番 澤本 幹男議員(5ページ)

- ① DX推進のためのBPRの状況について
- ② 奥多摩中学校の部活動について

(2) 10番 原島 幸次議員(5ページ)

- ① 当町における「生活困窮者自立支援制度」について
- ② 第6期奥多摩町長期総合計画について

(3) 4番 相田恵美子議員(6ページ)

- ① 「めぐる傘立て」の提案
- ② 障害者週間における町の取り組みについて
- ③ 生活館・コミセンにWi-Fiの設置を

(4) 9番 高橋 邦男議員(6ページ)

- ① 観光ごみ放置対策について
- ② 旧古里中学校の維持管理について

(5) 8番 宮野 亨 議員(7ページ)

- ① 大規模噴火降灰対策について

(6) 2番 伊藤 英人議員(7ページ)

- ① こども計画策定 について
- ② 地方版総合戦略 地域再生計画 企業版ふるさと納税等 について
- ③ ゼロカーボンシティ 環境・気候非常事態宣言について

(7) 1番 榎戸 雄一議員(8ページ)

- ① 町制施行70周年事業について
- ② 小河内ダムの湖面利用について

(8) 5番 大澤由香里議員(8ページ)

- ① 健康寿命の延伸のために～健康診断の取り組みについて
- ② 過疎地域の環境整備支援について

(9) 3番 森田 紀子議員(9ページ)

- ① 岡山県西粟倉村視察について
- ② コロナ後の町事業について





自民党清新会
さわもと 幹男 議員

問

- ① DX推進のためのBPRの状況について
② 奥多摩中学校の部活動について

答

- ① 令和6年6月に全庁調査結果の報告あり
② スポーツ部は生徒が主体的に計画

質問1 今年の3月定例議会にて「成果を重視した行政改革の推進」について質問したが、町長の答弁では具体的な内容やスケジュールは新庁舎建設のタイミングを見据えている。その前段階としてデジタル推進費におけるBPR(ビジネス・プロセス・リエンジニアリング)の取組の徹底が前提であると話があったがそのBPRの実施状況について問う。

質問2 奥多摩中学校の部活動の中でスポーツ部活動は、今年度から始まった地域ぐるみの取組をしている。奥多摩中学校の生徒はスポーツ部活動で野球等の団体競技が難しく、個人的に野球のクラブに参加しているが、以下伺いたい。

- ① スポーツ部の部活動の現状は。
② スポーツ部の部活動に少人数で可能なスポーツの導入の考えはあるか。
③ 教員に頼らない指導者の確保は。

町長1 業務量調査分析及びBPR

支援業務委託を令和6年4月から令和7年1月まで行う契約を業者と行なった。6月に全庁調査結果の報告があった。その後、より詳細な業務手順の可視化・改善を実施する対象業務を管轄する部署として3課4係が選定され、現在は業務の可視化を図るための研修や業務整理や入力作業等を4係で行い委託業者が伴走支援を行っている。

教育長2 ①国のガイドラインでは部活動改革推進期間(3年間)として、地域や学校の実情に応じて地域連携・地域移行に取り組むこととされ、休日における活動の地域の環境整備を推進し改革が見通されている。スポーツ系はスポーツ部とバドミントン部、剣道、水泳、陸上、卓球は学校外で活動している。
②指導者の確保と生徒のニーズを踏まえた環境整備が必要。
③地域のみでは指導者確保難しい。



自民党清新会
はらしま ゆきつぐ 議員

問

第6期奥多摩町長期総合計画について

答

計画に沿って町と住民及び事業者等が連携してまちづくりを進めていく

質問第6期長期総合計画の基本構想・基本計画については、多摩大学の協力のもと住民参加ワークショップや役場若手職員10名のワーキンググループにより、基本構想・基本計画の案が策定され、審議会で審議し、最終案が作成された。この計画を実現するには、住民をはじめ関係団体、議員、職員に十分理解してもらうことが重要である。以下質問する。

①ワークショップに参加した住民は少数なので、全住民を対象とした住民説明会を開催し、計画について意見を伺うことは考えているのか。

②計画を実行するためには、住民、関係団体や職員の力が必要だが、どのように周知するのか。

③計画は作成して終わりではない、絵に描いた餅にならないようにするため、どのように進捗管理をするのか現時点での考えは。

町長① 現在パブリックコメントを実施し、基本計画についての意見等を募集しており、現時点で全住民を対象とした住民説明会を開催する予定はない。②計画を実行するためには、職員をはじめ、住民や関係団体の力が必要であり、第6期長期総合計画がスタートする令和7年春には町ホームページへの掲載のほか、概要版を作成し、全戸配布を予定しており、図書館や窓口などでも閲覧できるようにしていく。③現在アドバイザー業務委託をしている多摩大学総合研究所と協議を重ね、成果指標の設定も含め実施計画への落とし込み方、及び事業評価方法について検討している。計画は策定して終わりではなく、計画に沿って町と住民及び事業者等が連携してまちづくりを進めていくことが重要であると考えている。



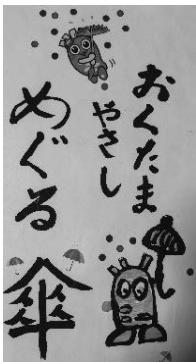
ガジュマルの会
あいだえみこ
相田恵美子議員

問 「めぐる傘立て」の提案

答
町の実情に合った持続可能な運用が図られるよう研究する

質問「ごみ削減・環境循環の視点から「めぐる傘」の提案をする。「めぐる傘」とは忘れ物の傘や不要になった傘が処分され、ごみになる前に必要な人に使ってもらう、というリサイクルの取り組み。町の公共施設でも忘れ物傘の引き取りはほぼなく、特に安価で耐久性のないビニール傘は不燃ごみとして処分される。処分される傘を再利用した「めぐる傘立て」を設置↓不要になった傘を置く↓必要な時に誰でも使用↓使用済の傘は町内の「めぐる傘立て」に戻す。但し、戻すことは強制ではない。当町は青梅線5駅のうち4駅は無人駅であり、突然の雨や雪の時、電車を利用する観光客や住民は大変困る。「めぐる傘立て」はSDGsの12番目の目標「作る責任つかう責任」に関連し、環境や観光客への配慮、住民福祉に寄与する取り組みである。町の所見を。

町長「めぐる傘立て」の設置は有意義な施策であり、環境意識の向上や資源の有効活用にもつながるものと期待される。全国の事例としては「アイカサ」が挙げられる。町での運用を考えた時、町内5駅のJR構内に設置する際はJRとの調整が必要であり、多くの時間や労力を要する。公共施設の忘れ傘を活用する場合には、遺失物法上に基づく規制があるため、簡単に再利用することが難しい。「めぐる傘立て」に不要な傘の放置、不法投棄が増える懸念や職員にかかる負担などの課題も考えられる。運用面の検証や課題を洗い出し、長期的な運用を模索し、町の実情に合った持続可能な運用が図られるよう研究する。



問 旧古里中学校の維持管理について

答
(株)ジェリーフィッシュと情報共有を図り、管理体制の確認を行う



山なみ会
たかはし くに
高橋 邦男議員

質問平成27年3月閉校となった旧古里中学校は現在、町が(株)ジェリーフィッシュと賃貸借契約を結び、校舎附属建物を含む校舎とその敷地及び敷地内の通路は町が貸し出して、校庭と体育館については町が管理している。ところで、校庭の草や植込みの手入れなどはシルバー人材センターが委託して行っているが、広大な敷地のため、作業が大変のようである。また、池の周りの草も茂り、校庭の隅にある倉庫の屋根も傷み、外の時計も止まっている状況である。ただ、校舎内の維持管理状況は把握できないが、このままでは、かつての古里中学校も荒れ果ててしまうのではないかと心配である。

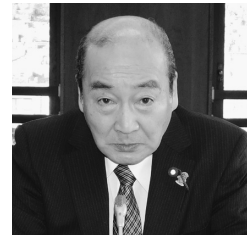
している部分の維持管理について町はどの程度把握しているか。

町長①町はシルバー人材センターに施設受付管理業務、夜間管理業務、並びに敷地内清掃及び除草業務を委託している。敷地内清掃及び除草業務については、3月から11月の間で45回、1日2人体制で作業をしている。なお、町管理区域以外の草や植込みの手入れは(株)ジェリーフィッシュが維持管理をしている。②敷地内の駐車場及び通路は共有で利用し、改修が必要になった場合は町の責任と使用負担において行う。共有部分の管理は善良なる管理者の注意義務をもって維持管理に努めることになっている。③維持管理についての具体的な報告は求めているため、詳細は把握できていないが、毎月の電気量の確認で現地に行った際などを利用して情報交換を行っている。

③(株)ジェリーフィッシュが管理する町の考えは。

①校庭の草や敷地内の植込みの手入れの維持管理体制は。

②駐車場と通路部分の維持管理に対する町の考えは。



宮野 公明
町議員

問 大規模噴火降灰対策について

答 住民意識の向上と備え及び対策を進めていく

質問 大規模噴火降灰対策について、住民意識の向上と町としての具体的な対策・備えについて問う。

① ライフラインが影響を受けた場合の対策

② 住民への周知としてマニュアル作成(情報の見える化)

③ 除灰作業に必要な除灰処理専用袋等の備蓄検討

町長 ① 電力施設は東京電力パワーグリッドが、上水道施設は東京都水道局が、下水道施設は町が、通信施設は各通信業者が、それぞれ被害箇所調査と応急を含めた復旧を実施することとしている。

② 具体的なマニュアル作成は今後検討する。地域防災計画の改定計画では、気象庁から発表される「降灰予報」により、情報収集を行い、降灰状況を調査し、都を通じて気象庁に報告する。被害発生に際し、住民への周知は降灰に関する重要な情報

について周知する。降灰への対策は、土地所有者や道路管理者並びに係機関の役割や対応を定め、相談窓口を開設する。避難対策では住民への外出を控えることの呼びかけや避難指示等について町の対応を定める。

③ 改定計画では、個々の装備品等に関する項目まで載せていないが、都の「大規模噴火降灰対応指針」の中で、目指すべき到達目標の7つのうちの1つとして、「降灰に備えた備蓄の促進」を位置づけていることから、都の動向も注視しつつ、連携を図っていく。引き続き、住民の安全・安心を確保していくため、都をはじめとする関係機関と連携し、住民意識の向上に資するよう、災害への備え及び対策を進めていく。



伊藤 どんぐり
町議員

問 地方版総合戦略 地域再生計画 企業版ふるさと納税等について

答 地域再生計画、企業版ふるさと納税等、研究していく

質問 地方版総合戦略「奥多摩町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、町の基本目標と重点課題を示す。また、総合戦略をもとにつくる地域再生計画には、国からの交付金措置が期待できる。近年、町ではJR東日本グループや野村不動産グループといった企業による先進的な事業が行われ今後の展開が期待される。

① 第3期奥多摩町まち・ひと・しごと創生総合戦略と地域再生計画の策定予定は。

② 都内の企業が都内の自治体に企業版ふるさと納税を行うことは都全体の利益となり、推進すべきと考える。企業版ふるさと納税の奥多摩町での導入は。

③ 個人向けのふるさと納税増額への取組は。

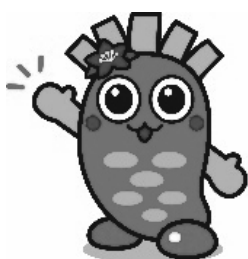
町長 ① ② 現在策定中の「第6期長期総合計画」が総合戦略を包含するものになるよう、検討している。

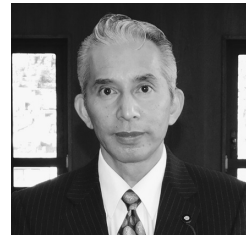
地域再生計画を策定し、国の認定を受けることで、「デジタル田園都市国家構想交付金」や「企業版ふるさと納税」などが活用できるので研究・検討していく。

「企業版ふるさと納税」は、国の動向を注視し、研究していく。

③ 令和5年度は1千1百万円を超えるあたたい寄付を受けた。ふるさと納税サイト登録、返礼品の公募、町の魅力ある商品・サービスの追加などが要因と考える。

さらなる掘りおこしのため、町ホームページ等を活用して返礼品公募やPRを今年度中に予定。増額にむけた取組を検討していく。





自民党清新会
えのきど ゆういち
榎戸 雄一 議員

問

- ① 町制施行70周年事業について
② 小河内ダムの湖面利用について

答

- ① 既存事業を冠事業化として実施予定
② 新たな浮橋は課題も多く困難である

質問1 奥多摩町は町政施行70周年を2025年に迎える。公共の記念事業は10年50年100年単位で行われることが多く特別な意味を持つ。60周年記念事業では「わさび」が誕生し重要なシンボルになった。「60kmウォーク」も開催され応援・観戦した方々が一体となり、町全体で盛り上がりを見せた。70周年記念事業では多くの町民が共に祝えるような記念事業が実施されることを期待したい。町の所見を伺う。

質問2 小河内ダムの湖面利用については、幾度となく一般質問で扱われてきた。水道局からは水質保全の面から困難であるという一貫した回答である。浮橋は既に2箇所設置されており実績もある。ダム堤体湖面側付近に設置できれば駐車場からもアクセス可能である。町政施行70周年記念事業と関連付ければ可能性も高くなる。町の見解は。

町長1 令和7年度は町政施行70周年を迎える記念すべき節目の年となる。60周年のときと同様、年間を通じて既存事業を冠事業化として実施予定である。町としては住民や観光客で大いに賑わう「ふれあいまつり」において住民や子供たちが関わりのもてる取組を行いたい。住民から企画の募集や民間企業や包括連携協定先の多摩大学と連携した取組も検討、協議していきたい。

町長2 これまでも湖面利用については複数の議員から質問されている。今回は浮橋を例に町制施行70周年記念事業と関連付けた提言である。ダム堤体付近で水質汚染があれば下流の浄水場に影響する恐れがある。また付近の道路の法面は急峻でアクセス通路の整備が必要であり、浮橋は水位の変化に伴う取外し等など課題も多く水道局の方針は変わりなく困難な状況である。



日本共産党
おおさわ ゆかり
大澤 由香里 議員

問

健康寿命の延伸のために
健康診断の取り組みについて

答

今後周知方法の工夫や実施方法を検討し、受診率向上を図る

質問 健康診断の取り組みについて問う。①特定健診・がん検診の受診率が低い要因の認識、未受診理由の把握②アンケートや聞き取り③心に響く周知の工夫④電話や個別訪問での受診勧奨⑤後期高齢者医療健康診査の健診結果表に検査項目の説明や数値の正常範囲などの記載⑥前立腺がん検診の無料PSA検査の復活

町長 ①特定健診受診率は全国の平均以上であり、東京都平均よりも高いが、令和11年度までに60%以上という国の目標値を目指し、今後周知方法の工夫や実施方法を検討し、受診率向上を図る。平成30年度にアンケート調査を実施。令和6年実施の調査は現在集計中。未受診の方の3〜4割はすでに医療機関と繋がっている状況で、次に多い理由は「時間が無いから」である。受診者の増加を図るため、集団の特定健診・がん検診は、土・日・祝日に

開催。令和6年度秋から、胃・肺・大腸・乳がんの集団検診において、従来の電話受付に加え、夜間や休日にも申し込みが可能な電子申請を導入している。③体験談を掲載したパンフレットについて研究するとともにウエルネスおくとまを活用した周知についても検討する。④ヘルシー体操や元氣アップおくとま等において受診勧奨を積極的に行なっている。⑤町の個別健診では、各医療機関に検診結果の正常値、検査項目の説明が記載されたパンフレットを配置し、結果説明時に活用している。今後、集団健診でも配布を検討する。⑥死亡率減少効果の有無を判断する証拠が不十分であること、症状が出てからの受診でも予後が良いこと、公費の使い道として妥当性が担保できないため、自費での受診をお願いしたい。



宇宙会
もりた
森田 紀子議員

問 岡山県西栗倉村視察について

答 町の実情と照らし合わせ、
様々な施策に取り組んでいく

質問 西栗倉村の、「百年の森林（もり）

構想」は、村の面積の93%を占める森林の木材価値を第6次産業までのシステムを作り高めた。西栗倉村は奥多摩町が学ぶべきものがたくさんある村だと思う。町長が視察した地域経済開発モデルとして有名な岡山県西栗倉村について問う。

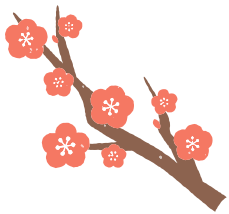
①視察に行った感想。そしてそれをどのように町政に生かそうと思うか。
②折しも第6期長期総合計画を策定中だが、どのように織り込むのか。
③先日、野村不動産ホールディングス㈱の「森を、つなぐ」東京プロジェクトエクトの現地視察をした。その後、Webセミナー「建設未来プロジェクト 森がひらく日本の再生」で奥多摩町の庁舎建設に携わっている㈱シエルターの「森林を最大限活用するために、大規模・高層建築への地域産木材の利用」を視聴した。野村不動産ホールディングス㈱の「森を、つなぐ」東京プロジェクトで搬出さ

れた木が、まだ出口が見つからず㈱東京・森と市庭で眠っていると聞いたが、町でパイプ役となって両社をつなぐことは考えているか。

町長①今回の視察は、「百年の森林（もり）構想」、「地域おこし協力隊制度の活用」及び「地場産業の展開」の3つをテーマとした。今回の研修で得たものを町の実情と照らし合わせ、町内外の人材の確保や民間事業者と連携を図りながら、様々な施策に取り組んでいく。

②今回の視察の成果を、今後策定する実施計画の中で、反映できればと考えている。

③伐採し保管されている木材については、原則、全てグループ内の事業等で活用する予定である。また、両社における事業連携は既に関係性はできている。



3月定例会等日程（予定）

議会運営委員会	2月26日（水）	
本会	3月5日（水）	
	3月7日（金）	
	3月11日（火）	一般質問
	3月13日（木）	予算特別委員会
	3月17日（月）	予算特別委員会
	3月18日（火）	

陳情受付期間 2月18日（火）まで

会議の予定は変更になる場合があります。
詳細は、下記までお問い合わせください。

☎0428（83）2302（議会事務局直通）

請願・陳情

- 3月定例会では、2月18日までに受理したものを審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。提出する際は、次のことにご注意ください。
- ①請願には必ず1人以上の紹介議員が必要で、（陳情は不要です）
 - ②請願・陳情者は、住所・氏名・電話番号を必ず記載し、署名（記名の場合は押印）してください。
 - ③提出は議会事務局へご持参ください。（郵送不可）
 - ④詳しいことは議会事務局にお問い合わせください。



議 会 日 誌

11月	3日	奥多摩町教育文化活動奨励証授与式
	7日	奥多摩町文化団体連盟催し部会小規模市の地域戦略を考える地方議会ネットワーク議長会行政視察
	13日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
	14日	第68回町村議会議長全国大会町村議会議長全国研修会・特別講演
	14日	西多摩地域広域行政圏スポーツ大会総合開会式兼前夜祭
	14日	進町村議会調査(北海道浦幌町議会)
	15日	東京都市監査委員会第1回委員研修会
	21日	例月出納検査
	28日	議会運営委員会
	29日	全員協議会
12月	6日	町議会第4回定例会
	3日	議会運営委員会

1月	8日	町議会第4回定例会 西多摩地区消防団連絡協議会理事会・懇親会
	9日	第63回加藤旗争奪駅伝競走大会(おくたまふれあい駅伝)
	9日	奥多摩町健康づくり推進協議会議員視察(給食センター・町内各小学校)
	11日	議会だより編集委員会
	12日	歳末たすけあい・地域福祉募金配分会
	12日	赤い羽根共同募金地域配分(B配分)・配分推せん委員会
	18日	奥多摩町正副消防団長OB会忘年会
	19日	奥多摩町環境審議会
	26日	例月出納検査
	6日	仕事始め式
	7日	青梅商工会議所新年賀詞交歓会
	8日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
	9日	議会だより編集委員会
	10日	町賀詞交歓会
	11日	奥多摩町スポーツ協会新年会
	11日	青梅警察署武道始式
	12日	警察協力三団体主催小宴
	12日	消防団出初式
	13日	二十歳を祝う会
	14日	奥多摩町・檜原村間連絡道路建設促進協議会

17日	議会だより編集委員会
17日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会
23日	西多摩郡町村議会議長会臨時総会
23日	東京都市監査委員会第2回委員研修会
24日	東京都三多摩地区消防運営協議会第二部会
24日	例月出納検査
28日	奥多摩町・檜原村議会議員合同研修会・懇親会
30日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会
30日	西多摩地区議会議長会正副議長賀詞交歓会

議会だよりのご感想をお寄せください。
また、議会に対するご意見ご要望等がありましたら、お気軽に議会事務局までお知らせください。

編集後記

昨年の12月8日第63回加藤旗争奪駅伝競走大会が51チームの町民ランナーをはじめ、多くの小中学生が参加され、盛大に開催されました。

私は審判車で選手の最後尾についていたところ、集団から少し遅れて小さな男の子が走っていました。どうも様子がおかしく今にも走るのを止めそうで心配していたところ、男の子は頑張り、最後の力を振り絞って無事タスキを渡すことができました。苦しくてもタスキを渡すために頑張っていた男の子、「子どもパワー」を見せていただいた大会でもありました。

当日はすべてのチームが事故や繰り上げスタートもなく、無事タスキを繋ぐことができました。
選手・役員の皆さん、沿道で応援していただいた皆さん、本当にご苦労さまでした。歴史あるこの駅伝が末永く続くことを願っています。



高橋 邦男 記

榎戸 雄一 伊藤 英人
相田恵美子 澤本 幹男